

○「興戸区で地区連絡会議を開催」

(京都府京田辺市興戸区地区連絡会議)(第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年6月26日午後7時～8時30分
- 場 所: 興戸区公民館
- 出席者: 興戸区実行組合の新旧3役、
農業委員1名、最適化推進委員1名
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 興戸区は市の中央部に位置し、府道22号線沿いに市街地が広がり、農地は府道と防賀川の間広がっている。
- 狭小、不整形な農地が多く、農業用水は、府道の西側の山際に位置するため池に頼っている。
- 古くはなすの産地であったが、今では2軒の農家がなすを栽培する他は、米と自家用野菜が栽培されている。
- 参加者からは、「農家は高齢化、息子は農業をつがない。農地を守らないといけないという意識は持っている。年金生活者の農業、手伝う若手の仲間づくり、奥様農業を考えないといけない。」等の意見がだされた。
- 大池の水位を下げることで、たがわずの池の臭いに対する住民からの苦情など農業用ため池に係る課題、また軽トラが離合できる農道幅と水路の確保に係る課題など、過去の経緯を交えた情報交換、共有化が図られた。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援